

# のり養殖通報第13報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成31年3月25日発行

## 【気象・海況】内湾のリン不足は解消、内房のリンは低レベル

- 気温は2月下旬～3月中旬にかけて概ね平年を上回る値で推移している。またこの期間の天候は周期的に変化し3月上中旬の降水量は94mm(平年62mm)に達した(千葉気象台)。気象予報によると今後は晴天が続き、気温は28日にかけて平年を大きく上回り、29日以降は平年並みに落ち着くと予想されている。
- 3月19～20日の観測では表層水温は内湾が12℃台、内房は13℃台。植物プランクトン(優占種はキートセロス等の小型珪藻)は全域でやや多い。内湾では窒素、リンともにまとまった降雨で補給されほぼ十分な値に回復した。一方、内房では下洲ベタ以南でリンの値が大きく減少し、大貫ベタでは窒素も色落ちが心配されるレベルまで減少している(表1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では、沖合水の周期的な強い波及が継続している。3月7～11日には17℃台の水温が観測され、中旬には弱まったものの22日には再び18℃前後の水温が観測された。

## 【今後の留意点】 良い場所を有効に

- 内湾の栄養塩はほぼ十分な量に回復しましたが、内房では栄養塩レベルが低下してきました。今後、栄養塩低下が長期化した場合、ノリの色調悪化が懸念されます。内湾系水の波及を受けやすい場所など色調の良い場所を有効活用し、養殖を継続して下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。  
次回は4月5日頃発行します。

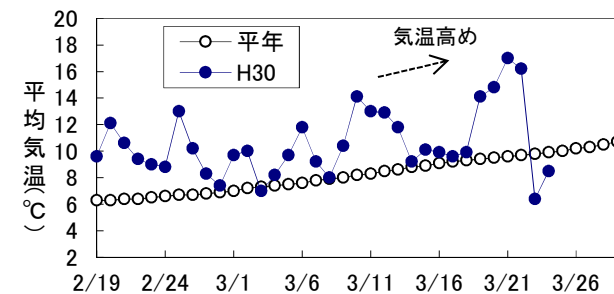


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

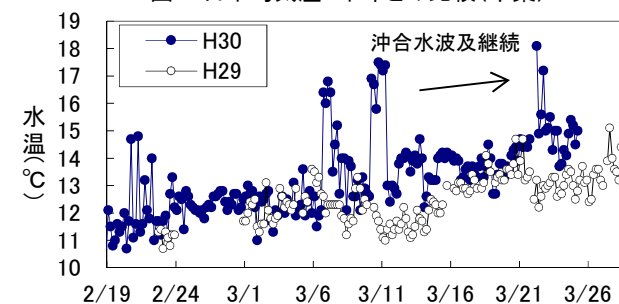


図2 昨年と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内湾 3/19, 内房 3/20)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	12.7	30.7	8.2	3.5	510	22
盤洲Cブイ	12.5	32.6	8.3	5.3	459	14
盤洲Bブイ	12.5	31.7	8.3	4.2	393	11
盤洲Aブイ	12.7	31.9	8.3	5.0	388	9
富津ベタ	12.4	32.4	8.2	5.0	331	10
2海ほ下	13.1	33.1	8.3	4.3	220	8
1海ほ下	13.7	33.4	8.2	3.8	169	5
下洲ベタ	13.4	33.3	8.3	5.5	136	1未満
大貫ベタ	13.5	33.4	8.4	5.8	77	1未満

\*溶存無機態窒素 (μg/l)、\*\*リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5